

RICOH カンタンセキュアプリント for Cloud

お客様事例

JCRファーマ株式会社 様

JCRファーマ株式会社 様

- 設立: 1975年9月
 - 所在地: 兵庫県芦屋市春日町3番19号(本社)
 - 従業員数: 934名(連結/2024年3月末時点)
 - 事業内容: 医薬品、再生医療等製品およびその原料の製造、売買ならびに輸出入医療用機器および実験用機器の売買ならびに輸出入
- <https://www.jcrpharm.co.jp/>

希少疾病に特化した事業を展開する製薬会社で、独自の「研究開発力」と「モノづくり力」を結集して高品質なバイオ医薬品、再生医療等製品を提供。「医薬品を通して人々の健康に貢献する」を企業理念として、独自のバイオ技術、細胞治療、再生医療技術を強みとした革新的な新薬の創製によるグローバル展開に挑戦している。



JCRファーマ株式会社
管理本部 情報システム部
課長 土井 康司 様



管理業務を軽減しながら、セキュリティ強化&スマートな印刷環境へ

JCRファーマ様は、希少疾病に特化したバイオ医薬品や再生医療等製品の研究開発と製造販売を行う製薬会社で、全国約20箇所に拠点をもち、研究開発と製造販売を行っています。同社は印刷の利便性向上と管理業務の効率化のために、「RICOH カンタンセキュアプリント for Cloud」を導入して活用されています。同社の印刷環境の改善について、JCRファーマ株式会社 管理本部 情報システム部 課長の土井康司様と上吹越(かみひごし)健太様に伺います。



印刷の課題

- 1 社内の別室や出張先の拠点で印刷する度に、個々のプリンタードライバーのインストールが必要だった。
- 2 重要書類のリスク管理と印刷物の取り忘れのリスク対策が課題になった。
- 3 事業拡大に伴い拠点数が増えて、印刷関連の管理業務も増えた。
- 4 入退社や人事異動の度に、それぞれの社員向けの印刷設定や管理が必要だった。

導入の効果

- 1 個々のプリンタードライバーのインストールが不要になり、誰もが簡単に印刷できるようになった。
- 2 社員証を活用した個人認証により、印刷物の放置がなくなりセキュアな印刷環境を実現した。
- 3 メーカー・機種ごとに実施していたプリンタードライバーの管理が不要になり、サポートの負担が改善された。
- 4 Microsoft Entra IDとの連携で印刷環境の管理が効率化された。

多拠点での印刷管理の効率化とユーザーの利便性を向上

JCRファーマ株式会社
管理本部 情報システム部
課長 土井 康司 様印刷拠点の増加や複雑化への
対応が課題に

JCRファーマ様は、業務拡大に伴いオフィスや工場などの拠点数が毎年増加し、印刷環境の改善が課題となりました。

同社管理本部 情報システム部 課長の土井康司様は、「拠点数は国内で20弱、グローバルを含めて25ほどになります。昨年度、一昨年度と新しい製造拠点ができ、今も新しい拠点を作っている最中です。情報システム部では、契約社員や派遣社員も含め1,000名近くの印刷環境を管理しています。

RICOH カンタンセキュアプリント for Cloudを導入するまでは、複数のメーカーのプリンターや複合機を使っていたのでプリンタードライバーも100以上あり、管理も大変でした。人事異動で社員が新しいプリンターを利用する際は、個々のパソコンへのプリンタードライバーのインストールが必要でした。

今ではWeb会議を十分に使えるようになりましたが、当時は対面の会議が多く、印刷した資料が必要な場面もありました。ところが、社内の別室や出先の拠点で印刷したくても持参のパソコンにドライバーが無く、プリンターが使えない、という声が多くありました。どうしても印刷したいという場合はリモート接続を行い、遠隔でドライバーをインストールしました。これらの対応にも時間がかかっていた」と、プリンターの管理に多くの労力と時間を費やされたことを思い返されます。

機密文書印刷の取り扱いや
印刷物の取り忘れのリスクなども

印刷時のセキュリティの課題について、「大量の印刷では、印刷がすべて終わってから印刷物を取りに行くことがあるため、印刷中にほかの社員に中身を見られてしまう恐れがありました。重役会議のような重要度の高い機密文書の取り扱いでもリスクを認識していましたし、業務の割り込みによる印刷物の取り忘れもありました」（土井様）

こうした印刷時のリスクや課題改善を検討された結果、RICOH カンタンセキュアプリント for Cloudの導入に至りました。

印刷設定のわずらわしさから解放

情報システム部の上吹越健太様は、「導入後、新しい拠点へ人事異動した社員からプリンタードライバーへの質問がきました。リコーのプリンターに対応していたので、従来通りに社員証をタッチすれば印刷できることを説明したところ、とても喜んでもらえて、問い合わせへの対応も5分以内に終わるようになりました。社員証のタッチだけで印刷できますし、ユーザーフレンドリーな仕組みなので、使い方の説明に時間を取られなくなりました」と、利便性の向上を実感されています。

RICOH カンタンセキュアプリント for Cloudは、クラウド経由での印刷指示のため、利用者はプリンタードライバーや出力先を意識する必要がなくなりました。

Microsoft Entra IDとの連携で
ユーザー管理を効率化

「弊社ではRICOH カンタンセキュアプリント for CloudをMicrosoft Entra IDと連携させて、社員証を登録すれば印刷に使えるようにしています。連携の設定は30分もかからずに行いました。人事異動時のメンテナンスの時間も短くなって、楽になりました」（上吹越様）

印刷物の取り忘れや
放置の問題も解消

「社員証を複合機にタッチしないと印刷されないため、その場から離れなければ印刷物も



出張先でも社員証のタッチだけで印刷が便利に

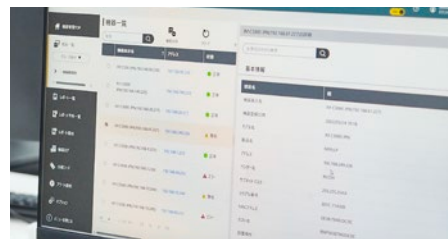
残りませんし、ログも残されているので、取り残しの処理もしやすくなりました。管理画面もわかりやすく、問い合わせがあれば、電話をつないだまま簡単な操作で確認できます」（上吹越様）

レポート機能で
機材管理の効率化も

「RICOH カンタンセキュアプリント for Cloudのレポート機能に機材の一覧表示があり、機材のシリアルナンバーも含めてすべてのデータをまとめて取れるため、台帳と突き合わせるだけで管理ができます。便利に使っている機能の1つです」（上吹越様）

Microsoft 365と連動した
データ保存への活用も

「今後の展開としては、Microsoft 365 サービスと連動させて、複合機でスキャンしたデータをOne Driveに保存するような運用を検討しています。デジタルとデータを活用した業務変革やイノベーションの創出を実現するために、RICOH カンタンセキュアプリント for Cloudの活用による管理業務の負荷軽減は大きいことだと思います。今後も業務改善を図っていきたいと考えています」（土井様）



見やすい管理画面でスマートな機材管理が可能

※本事例カタログ内の説明画面と実際の画面の色とは、印刷の関係で多少異なる場合があります。 ※詳しい商品・サービス等の内容については、販売担当者にご確認ください。 ※Microsoft 365、Microsoft EntraおよびOneDriveは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。 ※本事例カタログに記載の会社名および製品名・ロゴマークはそれぞれ各社の商号、商標または登録商標です。

RICOH
imagine. change.

リコージャパン株式会社

東京都港区芝3-8-2 芝公園ファーストビル
〒105-8503<https://www.ricoh.co.jp/service/kantan-secure-print-for-cloud>

●お問い合わせ・ご用命は…